



# Ansibleサーバ/ネットワーク運用自動化ハンズオン ～基礎から応用まで～

2020年11月20日  
レッドハット株式会社  
中島 倫明  
齊藤 秀喜



---

# Ansible の概要

プレスリリース

# Red Hat、独立系調査企業によるインフラ ストラクチャ・オートメーション・プラ ットフォーム評価でリーダーに選出

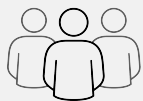
Red Hat Ansible Automation Platformが戦略、市場プレゼンス、および現行製品のカ  
テゴリでのスコアに基づいて、リーダーのひとつに認定

Forrester Research<sup>1</sup>によつて、Red Hat Ansible Automation PlatformがThe Forrester Wave<sup>™</sup>のリーダーとして評価されたことを嬉しく思います。同レポートで述べられているように、このソリューションは『広範な他ベンダーのインフラストラクチャと統合できる包括的なオートメーション・プラットフォームを求める顧客に最適』です。また、Ansible Automation Platformは開発者にも好評で、DevOpsツールチェーンでも使用されており、ネットワーク、セキュリティ、ストレージ、その他多数の領域に渡るオートメーションの拡張を実現する強力な要素としてエンタープライズで急成長しています。さらに、AnsibleはRed Hatのポートフォリオの多くと統合され、お客様がオートメーションのレベルを高め、コストと複雑性を低減するために役立ちます。

RED HAT マネージメント担当バイスプレジデント JOE FITZGERALD

<https://www.redhat.com/ja/about/press-releases/red-hat-named-leader-independent-research-firm-infrastructure-automation-platforms-evaluation?source=pressreleaselisting>

# Red Hat Ansible Automation Platform の全体像



Network



Lines Of Business



Security



Operations



Infrastructure



Developers

## Red Hat Ansible Automation Platform

**Accelerate**  
Content  
Collections

**Collaborate**  
Automation Hub

**Governance**  
Automation  
Services Catalog

**Trust**  
Certified Content

**Inform**  
Automation  
Analytics

自動化の促進

**Ansible Tower: Operate & control at scale**

自動化のコア

**Ansible Engine: Universal language of automation**

**Fueled by an open source community**

# Red Hat Ansible Automation Platform の全体像



Network



Lines Of Business



Security



Operations



Infrastructure



Developers

## Red Hat Ansible Automation Platform

**Accelerate**  
Content  
Collections

**Collaborate**  
Automation Hub

**Governance**  
Automation  
Services Catalog

**Trust**  
Certified Content

**Inform**  
Automation  
Analytics

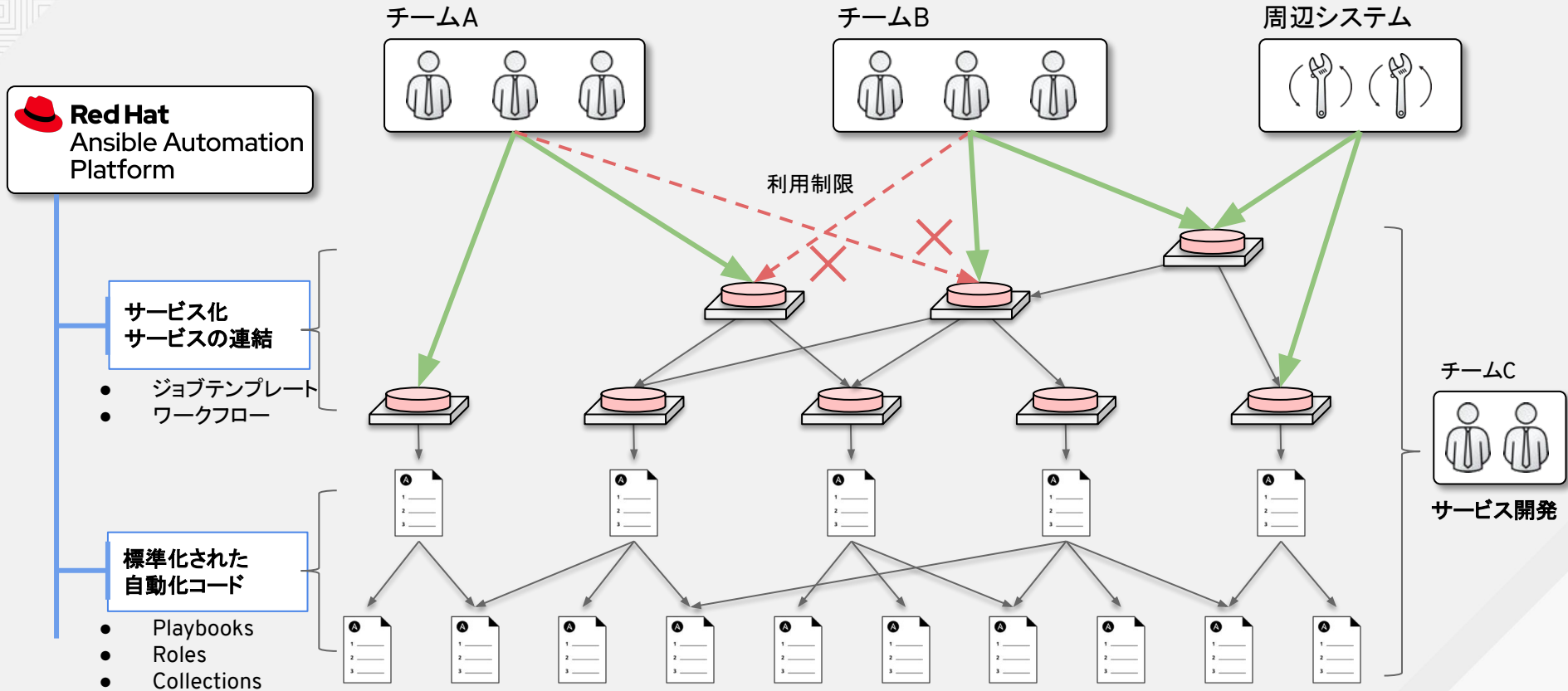
**Ansible Tower: Operate & control at scale**

**Ansible Engine: Universal language of automation**

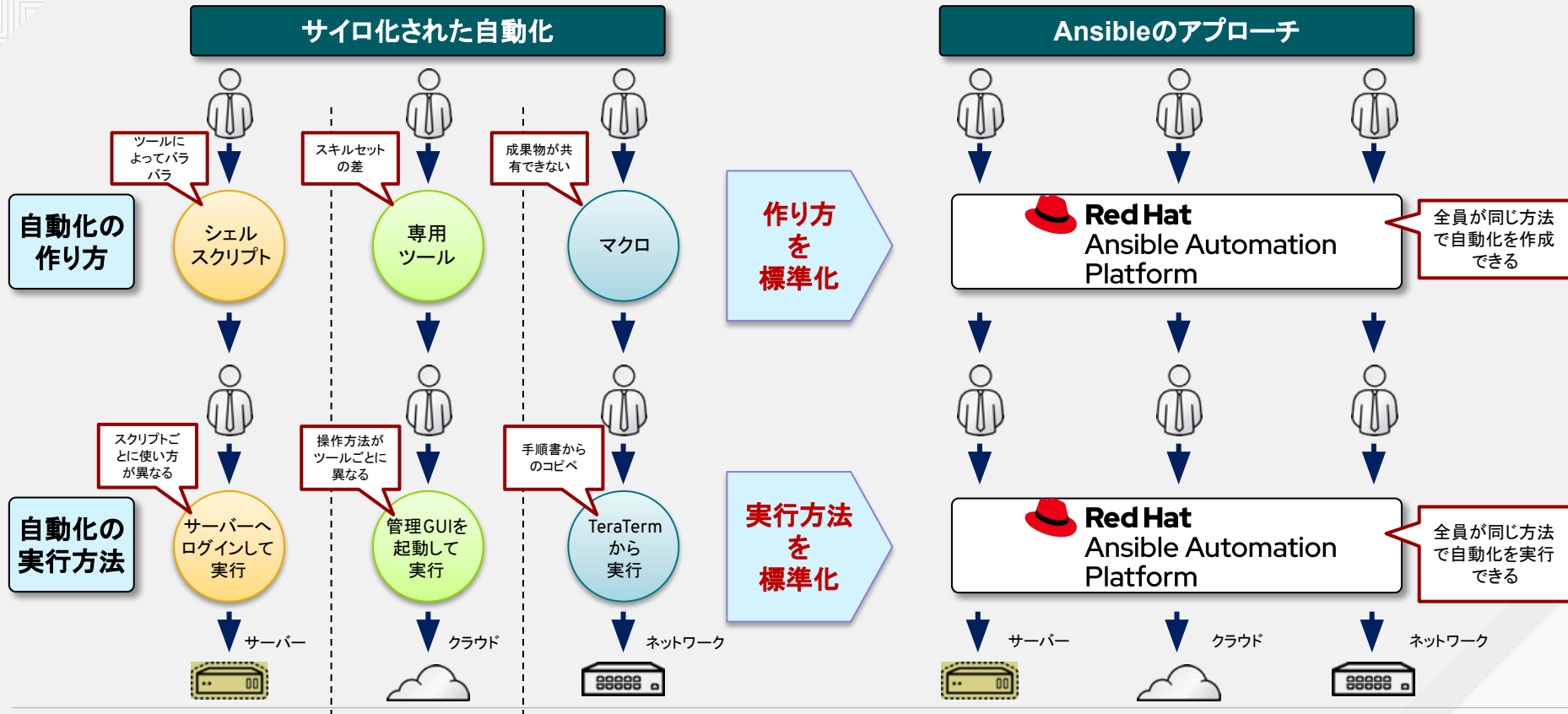
自動化のコア

**Fueled by an open source community**

# Red Hat Ansible Automation Platform のコア部分

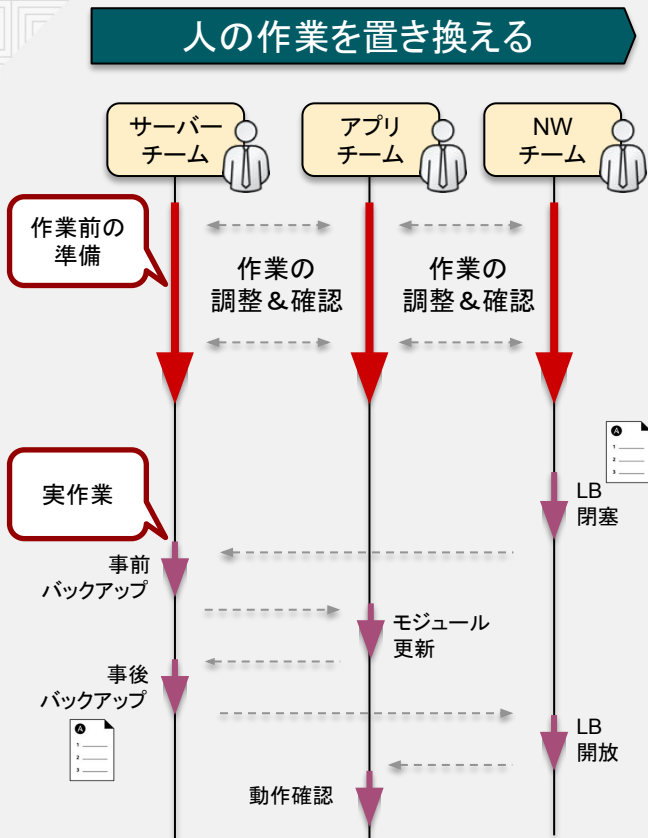


# コア機能の役割(1): 自動化のサイロ化を解決

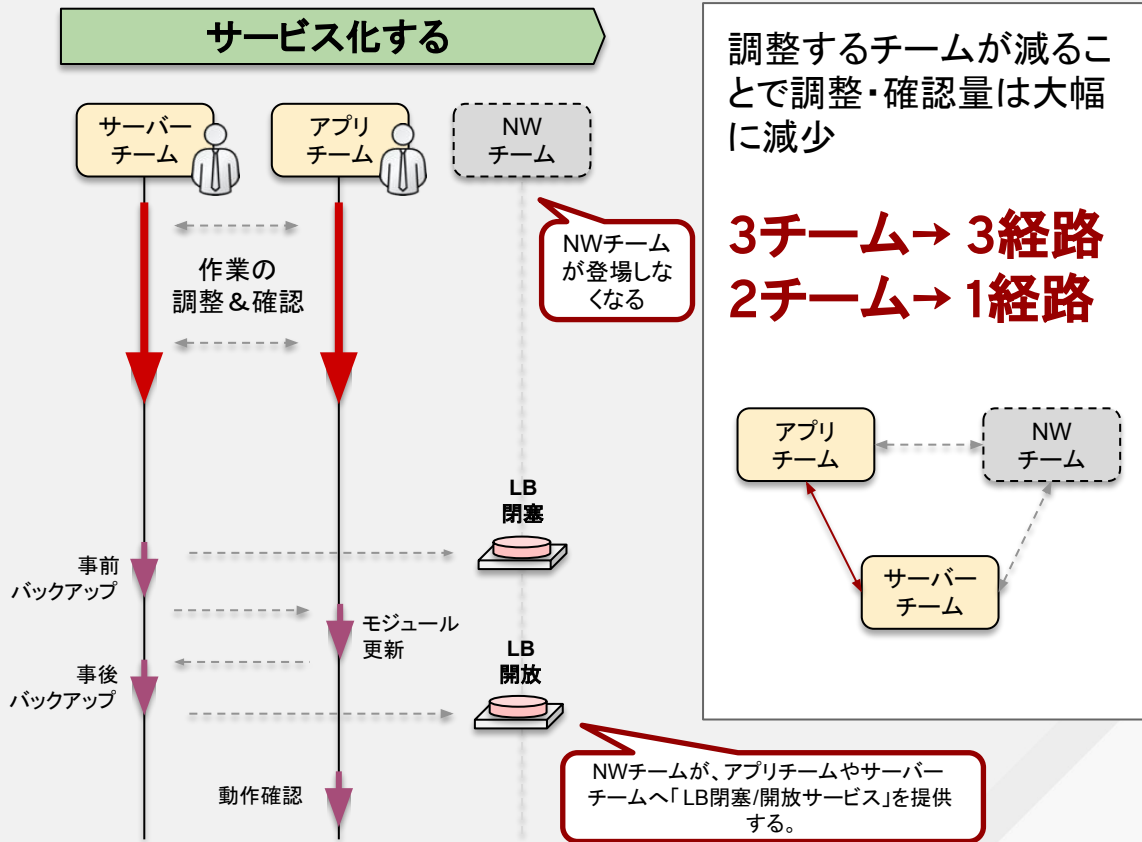


# コア機能の役割(2) 組織や人のオーバーヘッドを解決

## 人の作業を置き換える



## サービス化する

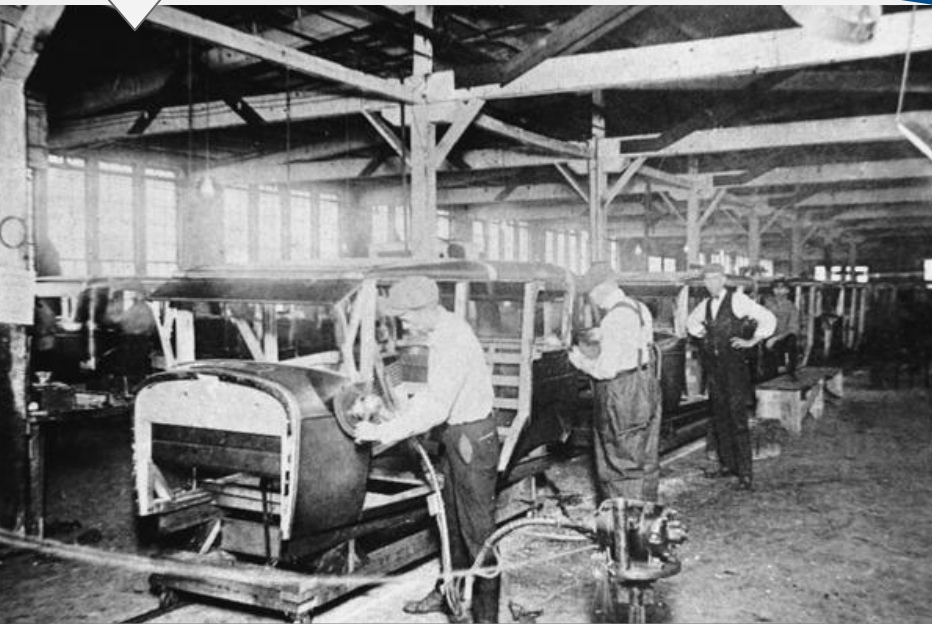




# Ansibleの目指すゴール 自動化のパラダイムシフト 自動化1.0 → 2.0

人が作業  
(機械で補助する)

機械が作業  
(人が管理する)



自動化1.0



自動化2.0

# Ansibleの目指すゴール 自動化のパラダイムシフト 自動化1.0 → 2.0

人が作業  
(機械で補助する)

機械が作業  
(人が管理する)

人の「作業」を補助する

バラバラのツールとスキル

人が現場にいる前提

自動化1.0

インフラを「サービス化」する

統一された言語とスキル

人が現場にいない前提

自動化2.0

---

# ハンズオン

# ハンズオンの流れ

- 今回のハンズオンで実施する内容
- サーバー自動化
- ネットワーク自動化

# ハンズオンでフォーカスするレイヤー

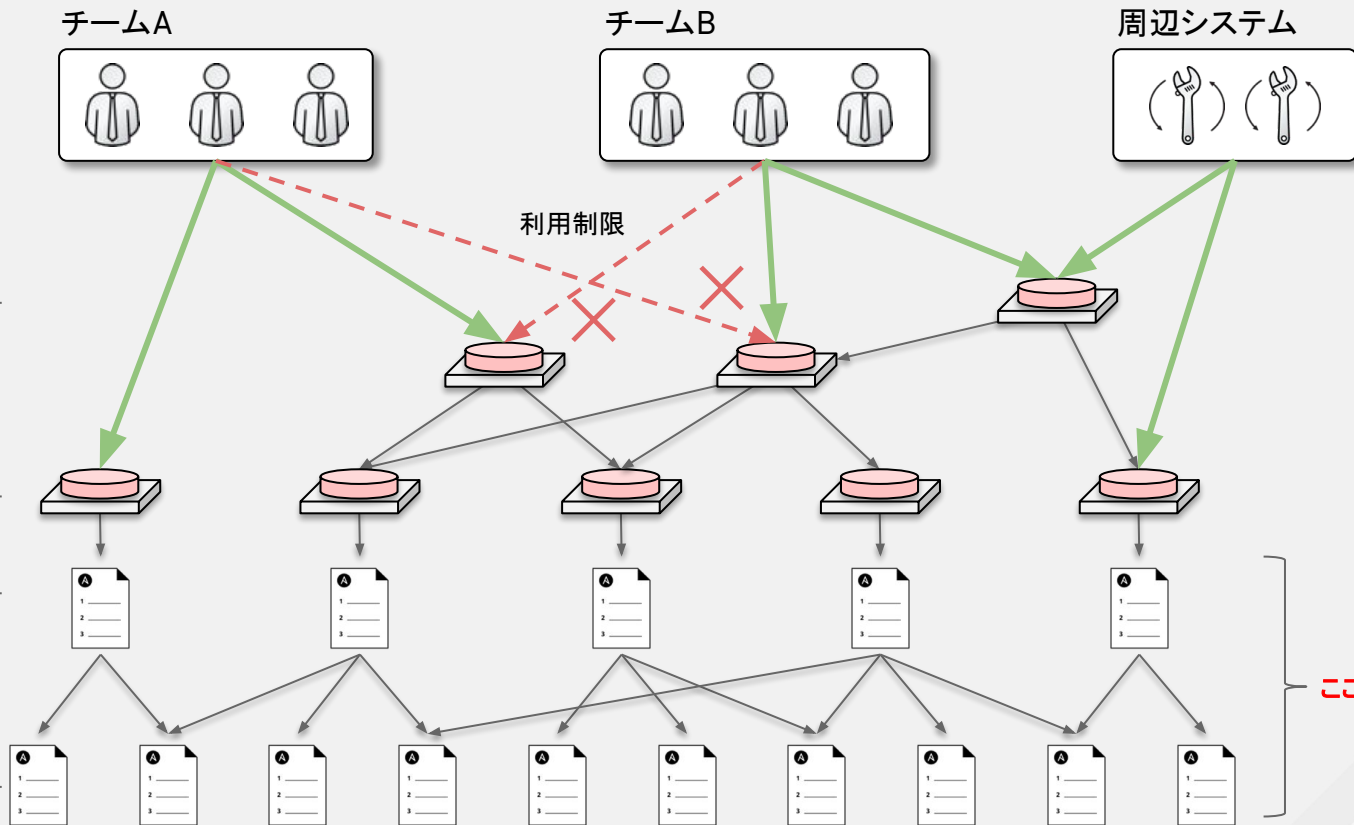


## サービス化 サービスの連結

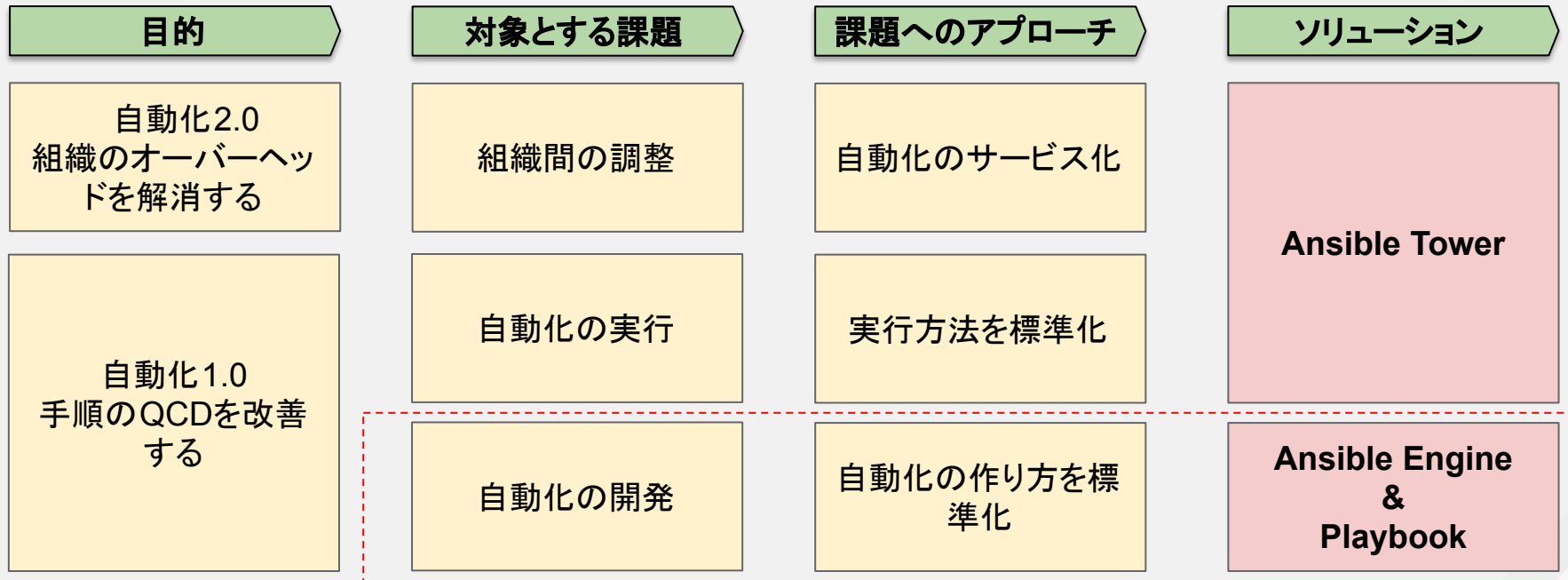
- ジョブテンプレート
- ワークフロー

## 標準化された 自動化コード

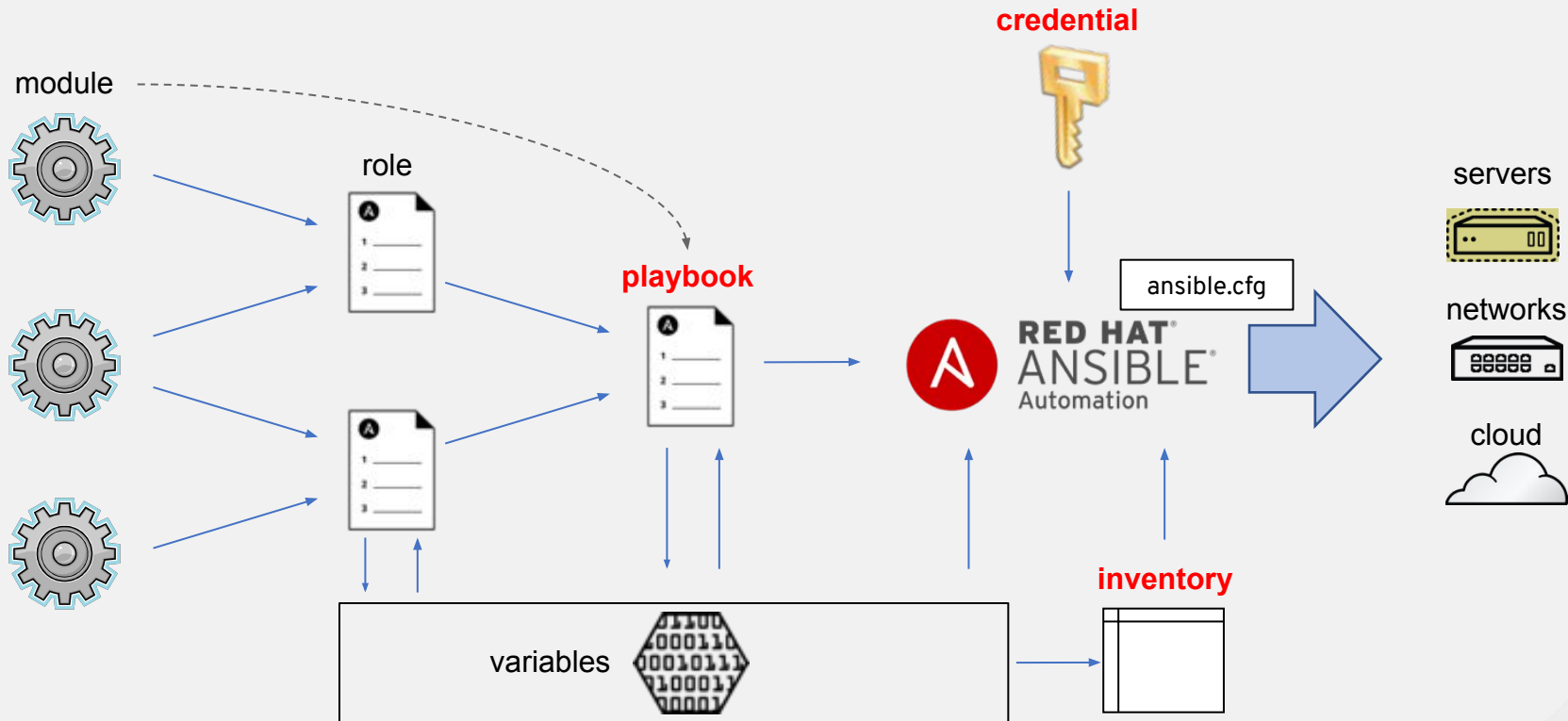
- Playbooks
- Roles
- Collections



# 本ハンズオンがカバーする範囲



# Ansible の構造



---

# まとめ



# Ansible とは

- サーバーからネットワーク、仮想化、クラウドまで自動化が可能
  - 「Playbookを書く」という共通スキルで自動化に取り組めます。
- 自動化を進める時には、「自動化で解決する課題」を明確にすることが重要
  - 自動化1.0、自動化2.0の視点
- 本日のハンズオンで学んだ内容を業務で活用してもらえると嬉しいです。

# Red Hat Forum APAC

## ハイライトセミナー

～ 事例から学ぶDXを実現するオープンソース活用 ～

# What's next?

開催  
日程

2020年11月20日[金]  
10:30～17:30予定(オンライン)

参加  
登録

<https://redhat-forum.jp/>



# まずはここから自動化を始めよう！



## Ansible トレイルマップ

Ansibleトレイルマップは、ハイキングや登山の地図の用に手元に参考にしなが、Ansibleを活用するあらゆるシーンを乗り越えるための手引書です。

初学者でも、中級者で業務適用を進める人でも、大小異なりますが、様々な障害を乗り越えて行く必要があります。ただ、これらの障害を乗り越えた先に見える風景は格別なものです。また、途中で寄り道しながら見る風景が絶景だと、それまで地道に歩んできたことが報われるものです。

Ansibleもこのような旅路と同じように様々なステップを踏んでいくことで一歩ずつITインフラの自動化のレベルを上げていくことができるものです。Ansible連峰を攻略して自動化という旅をAnsibleトレイルマップと共に歩んで行きませんか？



<http://red.ht/AnsibleTrailmap>

# アンケートへご協力をお願い

当セミナーは、オンラインアンケートを実施しております。  
今後の情報提供の最適化につなげるため、ご協力をお願い致します。

URL [red.ht/ansible1117](https://red.ht/ansible1117)



回答者全員  
特製壁紙プレゼント

ANSIBLE AUTOMATES

THANK YOU



[youtube.com/AnsibleAutomation](https://www.youtube.com/AnsibleAutomation)



[facebook.com/ansibleautomation](https://www.facebook.com/ansibleautomation)



[linkedin.com/company/Red-Hat](https://www.linkedin.com/company/Red-Hat)



[twitter.com/ansible](https://twitter.com/ansible)